



四日市市立西朝明中学校

令和7年度 第24号  
令和8年3月5日(木)

# にしあさけ

## 🏠 今週は卒業証書授与式です 🏠

3月6日(金)は西朝明中学校・第47回卒業証書授与式です。令和7年度3年生103名が明日卒業します。



5日(木)は、西朝明中学校同窓会入会式を行い同窓会長に代わり、校長より祝辞として、校長自身の進路選択や、教え子たちの生き方を例に挙げ、夢を叶える方法は一つで

はないこと、正解は一つではないこと、ものの見方考え方を変えれば、正しさも結論も変わるという話をしました。

また、卒業式のリハーサルを行いました。令和7年度の西朝明中学校生全員が集まる最後の機会でしたので、令和7年度始業式・入学式で話した、校長の座右の銘「有隣



(徳は孤ならず、必ず隣あり)」について、校長の大学時代の思い出話にも触れながら話をしました。



「有隣」(徳は孤ならず、必ず隣あり。)の言葉は、論語に記された、古代中国の思想家・孔子の言葉です。卒業生にはこの先の人生の中で、苦しい立場に立つたときに、本当

の正しさを貫き、対話を続け、納得解を導こうとすることで、今は孤立する立場だったり、相反する考え方の人がいたりしても、必ず隣で支えてくれる人が出てくる。という意味です。

また、同窓会入会式、リハーサルを含め、明日の卒業式の校長式辞でも、裏面に掲載した生徒作品の中から校長からの祝辞で引用しています。生徒の皆さんは自分ならどの作品を引用するか考えてみてください。

卒業証書には「中学校の課程を修了したことを証する」と記されています。中学校の卒業式は「義務教育の修了の日」であり、自立への「決意を示す日」でもあると考えます。式に参加する生徒の皆さんは、冠婚葬祭の「冠」に当たる、人生の中で重要な式典であることをもう一度、認識して明日にのぞみましょう。



## 📖📝 川柳(生徒作品)～3年生より～ 📝📖



- ・はなれても 思いはおなじ これからも
- ・君がいま 笑顔でいたら うれしいな
- ・桜咲き 胸を弾ませ はや、三年
- ・入学し あっという間に 卒業式
- ・三年前 出会ったこの場に さようなら
- ・3年間 色んな思い出 ありがとう

- ・笑い声 俺らの時間 ありがとう
- ・笑い合い ときに怒られ 落ち込んだ
- ・SDGs 学んだ三年 生かしていこう
- ・数々の 共に歩んだ ストリート
- ・戻りたい 東京の街 カムバック
- ・班行動 地図を広げて 夢膨らむ



- ・あと一步 届かぬ悔しさ 夏の空
- ・体育祭 賞はとれずも 楽しんだ
- ・あの頃へ タイムリーパー もう一度
- ・合唱コン みんなと共に とった賞
- ・文化祭 みんなとひとつ Victory
- ・学年で レクを楽しみ けがもなく



- ・進むべき 我が人生の 道しるべ
- ・後輩に 勉強しろと 伝えたい
- ・クラス内 普通の会話も 思い出だ
- ・ありがとう 支えてくれた 仲間たち
- ・忘れない 思い出の宝庫 さらば友
- ・友だちと ハマったアニメで もりあがる

- ・昨日まで 入学式 だったのに
- ・制服に 袖通すのも あと数回
- ・この桜 咲かせてみせる あと少し
- ・椿の花 落ちたらつぎは 桜の花



- ・妥協はない 全てを賭けて 戦う覚悟
- ・今までの 思いとともに 桜咲け
- ・またいつか みんな変わって いるのかな
- ・入学式 晴れて私も 高校生



- ・三年前 出会ったこの場に さようなら
- ・ひとまずは ともだちみんなと おわかれだ
- ・卒業の 涙の背景 咲く桜
- ・変顔で 染める卒業 狂室で
- ・巣立つ鳥 羽と巣の下 桜咲く

- ・全員に 感謝を送る 卒業式
- ・帰るとき 壁や黒板 きれいだな
- ・短いな 制服の袖 最後の日
- ・学び舎に 果てなく積もる タカラモノ

- ・飛び立ちの日 待っているのは 夢希望



## 💖 表彰伝達(3年生分) 💖

第62回三泗小・中学校美術展覧会

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| 和泉さん | 川北さん | 佐藤さん | 谷口さん | 中尾さん |
| 浅井さん | 川井さん | 高橋さん | 寺嶋さん | 矢野さん |
| 石川さん | 出山さん | 佐藤さん | 多湖さん |      |

第46回三重県小中学校書初め展

- 佳作 北川さん 野呂さん 有島さん

